

令和3年度 第2回社会教育委員及び公民館運営審議会委員会会議（会議録）

日時：令和3年7月28日（水）午前10時～

場所：八幡市役所 分庁舎2階 会議室A

出席： 笥委員、藤原委員、北委員、羽野委員、藤田委員、眞柄委員、赤松委員、松本委員
金子委員、佐野次長（生涯学習センター館長）、八十島課長（文化財保護課）、佐野
館長（図書館）

（事務局）小橋教育長、辻部長、（社会教育課）辻課長、荻野、鳥居

欠席： 高橋委員

1. 開会

※今会議より、傍聴人の募集を行った。今回は、0人。

2. 委嘱状交付

3. 教育長挨拶

4. 委員紹介

5. 委員長・副委員長の選任

委員長：笥委員（文化団体選出）、副委員長：藤原委員（体育団体選出）

6. 議事

（1）報告事項

○令和3年度第1回山城地方社会教育委員連絡協議会 理事会

日時 令和3年5月14日（金）

（中止・書面による議決）

○令和3年度山城地方社会教育委員連絡協議会 総会

日時 令和3年6月11日（金）

（中止・書面による議決）

○令和3年度 京都府社会教育委員連絡協議会 総会

日時 令和3年6月25日（金）

出席：笥副委員長、松本（益）委員、大谷委員

委任状：和田委員長、羽野委員、内藤委員、高橋委員、笠井委員、眞柄委員、松本（俊）
委員

（2）今後の行事予定

○令和3年度 やましろ未来っ子 みんなでHUGフォーラム（山城地方PTA指導者研
修会、子育てサポータースキルアップ講座）

日時 令和3年7月下旬 動画配信

※7月28日現在詳細が不明なため、詳細が判明次第各委員に連絡する。

○令和3年度 山城地方社会教育委員連絡協議会臨時理事会

日時 令和3年8月2日(月) 午後2時30分～

場所 京都府田辺総合庁舎 大会議室

出席 寛委員長

○令和3年度 近畿地区社会教育研究大会

日時 令和3年9月9日(木)

場所 大阪府咲洲庁舎

出席 寛委員長

※主催者より、各市町村1名のみでの出席とされたため、寛委員長に出席いただく。

○第43回全国公民館研究集会京都大会・第68回近畿公民館大会京都大会・第63回京都府公民館大会

日時 令和3年11月12日(金)

場所 八幡市文化センター

内容 開会行事、講演、分科会等

【生涯学習センターより報告】

標記の大会が、本市で開催されることが決定。本件は、昨年度、本市で開催を予定されておりましたが、新型コロナの影響により、延期となり、今年度開催される運びとなった。

現在、開催方法等について、検討が進められているが、大会運営を行う上で、現在の状況では不確定な要素が多く、準備を進めることが困難なことから、感染拡大状況の影響を受けずに開催できる「動画配信」での開催を検討されている。

詳細が判明次第、報告させていただく。

7. 議題

○スキルアップ学習会について

【参考：過去の学習会内容】

○令和3年1月26日(火)

講師：佛教大学教育学部 教授 原 清治 氏

テーマ：ネット社会と子どもたち

○令和元年9月1日(水)

講師：NPO法人京都子どもセンター 副理事長 竹内 香織 氏

テーマ：それぞれの団体を繋いでいき、活動するにはどうすれば良いか

○平成 30 年 7 月 30 日（月）

講 師：龍谷大学名誉教授 加藤 博史 氏

テーマ：ボランティア活動の活性化・継続・発展のための方策

○平成 29 年 7 月 28 日（金）

講 師：京都文教短期大学ライフデザイン学科 教授 森川 知史 氏

テーマ：社会教育委員の役割について

【議 事】

筧委員長：委員の皆さんの方から、今こうゆうテーマで勉強したいことがあればご意見をいただきたい。

北 委員：講師リストにはたくさんの講師の方が記載されているが、今はまだコロナの収束が見えない中で、学校や団体としても事業を開催出来るか、出来ないか、出来ても感染者が出た場合、責任問題になってくるなど悩ましいところである。リストの No. 607・608 宇治市の生涯学習課が担当しているところで、「感染症と共にくらす」ということで人権教育の分野で 2 人講演をされている。この 2 人というわけではないが、コロナなどの感染症対策をたてつついろいろな事業をうまく進められるような、お話を聞ければタイムリーかなと個人的に思います。

筧委員長：その他にありますでしょうか。

眞柄委員いかがでしょうか。

眞柄委員：社会教育委員としてまだまだ分からないことがいっぱいだが、個人的には北委員の意見にとっても賛成です。コロナというのは、今避けては通れない、その中でオリンピックの選手たちがすごく勇気づけてくれたり、がんばっている姿で、周りの者がコロナに対して、がんばって取り組んでいかないとということがあったので、そういう方面でしていただけるのはいいと思う。

筧委員長：松本委員いかがでしょうか。

松本委員：昨年度はコロナの関係でいろいろ制約がありまして、具体的なことはなにも出来なかった。社会教育委員になってから、八幡市の良さといいますか、他の市の方にいろいろ自慢ができるようなことを、探しておりまして。発見したことを、いろんな場で発信させてもらっているんですけど。何と言いましても八幡市は、八幡山ということで、八幡山につきましては、ピンポイントで歴史的な背景などあるのは知っているんですけど、創建されてからの線の流れなかでどういった歴史の関りがあったのか分かっているようで分かっていないということで、まずは八幡市の原点である八幡山を知るということで、八幡山の学芸員の方がおられますね、またこれは別の会でですね田中宮

司さんに一回お話をさせていただいたことがあるんですけども、そういうことでですね、基本的なことを学ぶということで、八幡山からそういう機会を頂いたらいいのかなと思います。

寛委員長：ありがとうございます。

羽野委員いかがですか。

羽野委員：今回初めてですので、よろしくお願ひいたします。美濃山小学校長の羽野でございます。昨年度からコロナ禍の中に置いて、子どもたちは、行事もちゃんと出来ていないという状況が続いています。2年生にとってみたら、1年生で入学して、本来でしたら保護者の方に来て頂いて元気な姿を見せてあげたい、保護者も見たいということが一年半続いていて、学校もいよいよ2学期になるにしたがって、通常の教育活動の方にいかに方向転換していくか、地域の方とどうやって連携して教育活動を進めていくかということをご各学校頭を悩ませているところなんです。そういう観点から、Withコロナのなかでどういった風に教育活動を進めていくか、また地域と連携していくかということについては非常にありがたいテーマだと思うので、個人的には賛成です。

寛委員長：ありがとうございます。

今回市民公募で選ばれた、金子委員いかがでしょうか。

金子委員：金子です。初めてですので、まだあまり実感できていないので、その辺はご勘弁お願いしたいんですが、いまコロナの話がありましたけれど、私、去年かな、ある獣医さんの話を聞く機会がありまして、コロナの関係なんですけど、その人が話されたのは、こういう研究はお医者さんよりも獣医さんの方がされるようなことを言われましてですね、で今私も人生でこんな状態が起こるとは思っておりませんでしたけど、その先生がおっしゃるには平安時代からあるんだと、それが今来ているということとですね、正しい情報をやはり知っていけないといけない。その当時は、家に帰ったら手を洗いなさいと、こう細かい洗い方をテレビでもやられておりましたけど、その先生が言うには、菌は100分の1にすればいいという考え方の先生でですね、そのためにはこういうことをすればいいということを紹介していただいて、まあ一番いいのは帰ってすぐシャワーを浴びるのがいいと言われましたけど、ただ、いま気になるのは感染拡大していますけれど、どこまで正しい情報を私たちは知っているのかなというの是非常に気になります。個人的に。私、会社員で勤めてた時は、ものづくりの改善活動の役割としてあったんですけど、その時は「なぜ」ということを3回ぐらい追及するという考えでですね、たとえばお店は今、お酒は8時までとか9時までとかというのはなぜというのをもうちょっとマスコミとか政府とかきっちり言ってもらったらもうちょっとみんな理解できると思うんですが、なんとなくは分かるんですけど、というのと、その感染が増えているのはそういうところで増えているから規制がかかっているんですけど、ただなんとなく規制

ばかり言われてもですね、というようなことも感じております。ということ
でちょっと話ながくなりましたけど、今年一年はまだまだ読めない状況なんで、
さらに対応するためにはというような話をそういう権威の先生の話聞かせて
いただければなということ少し考えています。

寛委員長：ありがとうございました。

ノロウイルスてのは怖いみたいで、あれは少なくとも感染するらしいです
ね。それから、子どもたちにはRSウイルスというのが凄く流行っているよう
で、ウイルスというのは本当に勉強したいと思いますね。

赤松委員どうでしょうか。

赤松委員：PTA代表の赤松です。3月からPTAの代表に思いがけずなって、子ども
たちの取り組とかいろいろしたいですけども、去年の方に教えていただいてや
ろうにも、去年は何も活動できなかった。今年も何かしていきたいんですけど
計画も立てられず、でも子どもたちのために何かしたいなと安全に何が出来る
のかというのを、市Pのほうで他の委員と話すだけでも、アイデアが生まれ
たりするので、そいったアイデアを教えていただける機会があったらPTA
や小学校、中学校の保護者はありがたいと、あとリモートとか動画とかの機会
が増えたので、そういうネットの中で子どもたち、親としてとかどうやって教
えてあげていったらいいのかすごく悩んでいる親は多いと思うのでそういうと
ころも学ぶ場があったらありがたいなと思っています。

寛委員長：ありがとうございます。

女性団体の藤田委員お願いします。

藤田委員：そうですね私はやっぱり全体的に見まして、高齢化がかなり進んでいると思
います。ですので、高齢化とともに人生を健康に生きていくために、このコロ
ナを活かしながら、いかに健康でいられるかというのをテーマにこの頃はよく
考えております。

寛委員長：ありがとうございます。

それでは、高橋委員はお休みですので、体育団体代表の藤原副委員長お願い
します。

藤原副委員長：藤原です。

さっき、一番先に言われた感染症と共に暮らすですか、私ももう70近くな
ってきてスポーツ1本で、和田前委員長と同期で高校でラグビーも一緒にやっ
ていて、それでずっと少年野球を30何年やってきて、どうしても病気とか怪
我とかでいろんな子どもたちがそれで挫折したとかいろんなものを見てきま
したんで、それでよく家で感染症、祇園祭が始まったのも疫病が原因、ちょう
どこの話を一番先に言われたとき、感染症ともう今更向き合わずにこれから生
きていけないので、感染症と共に暮らすのこれは、今の時代にピッタリかなと思
いました。

寛委員長：ありがとうございました。皆さんの関心の焦点が浮かび上がったんじゃないかと思います。インターネットについては、前回やったという経過もございますけども、国の方に新しい官庁が出来るということですけど、なかなかうまくいっていない。そういったことも踏まえて With コロナというのかコロナの時代に何かヒントになるようなテーマがあればというのが皆さんの大体のご意見じゃないかなというふうにまとめさせていただきます。

今後事務局と動き出しながら、来ていただく先生のご都合もございますから、その辺を調整しながらやってまいりたいと考えていますがどうでしょうか。

一同：異議なし

事務局：頂いたご意見をもとに講師等当たらせていただきたい。

寛委員長：では、このテーマについては以上で問題ございませんでしょうか。

一同：異議なし

8. その他

提案等なし

9. 新旧社会教育委員意見交換

寛委員長：本日は、前任の委員長等をお迎えしております。自己紹介等していただいて、あとあまり時間はとれないと思いますが、ご経験等お話いただければと思っております。

それでは、お願いします。

和田前委員長：このような機会を与えていただきありがとうございます。私、前委員長の和田でございます。先ほどの話題の中で私が今まで教職で携わってきたことと、退職しましてから、府の青少年課のユースアシスト青少年対策チームに4年間勤めさせていただきました。このなかで、社会教育委員の皆さんにちょっと考えていただきたいことがあります。私が、どうも出来ない、限界を感じたことがあります。どういうことかと言いましたら、課題を抱える子ども、課題を抱える保護者が、このコロナ禍でより立場が危うくなっておられる、どのような形で手を差し伸べていったらいいかというのを、ちょうど八幡市の教育委員会の社会教育課の方もおられますので様々な支援の方法、何とかしてほしいなど、就職は無くなる、子どもは職が保証されない、そのような子どもが非常に増えておりますので、ここを一番になんとか考えていただいて、また子どもたちが生き生き出来るような場所も社会教育委員の皆さんの方でなんか設定して頂けたらなど。いっぺんで解決する問題ではないと思うんですけど、意識するとしなやかによってやっぱり大きな流れになるんじゃないかなと、私が全く出来なかったことをこういった形で、お願いするのはおかしな話なんですけれども、

人生がなくなっていくと共に何か残していきたいなと思い返して、言わせていただきます。

笠井前委員：私は、幼稚園長を退職して、地域の子どもたちのために何か出来ることはないかと考えて、子ども食堂を立ち上げて、今現在もやってきております。地域の方、学校の保護者が子どもを連れてやってくる姿や、何か困ったことがあったら相談を受けたり、そんな形で現在までしてるんです。今でもコロナの関係で、そういった活動が出来ませんので、休んだりまた開設したり、そんな形でいまやっております。私も、先月まで社会教育委員として、6年間3期を務めさせていただきました。この中で、ここにおられる方は、地域の代表、団体の代表なので、情報をたくさんお持ちの方たちばかりでございます。そういった方たちのお話をたくさん聞かせていただいて、私自身も勉強させていただきました。これからは、私も一番最初、社会教育委員になったときは、何が出来るんやろうとか、何をせなあかんのやろう、役割はなんなんやろうと一生懸命悩んできたんですけど、2か月に1度の会議ではあまり先には進めないということが分かりまして、それやったら各地域の代表として来られている方たちのお話をたくさん聞くことで、情報を集めることでまた何か掴めていくことが出来るんじゃないかといことでやってまいりました。なので、これからの皆さんにも、偉そうな言い方ですけど、これからどうするかっていうのはやっぱり情報を交換し合う、そこで問題点、課題をつかんで一緒に考える。そのことで、地域にお返しが出来ることになるのかなって考えたりしています。あと、後継者をどうするのか、ということも私たち委員の中で課題になっておりました。後継者にどうやって繋いでいくかということで、今回こんな場をもっていただけたことが、ありがたい思いでいっぱいです。

どうか皆さん地域の為、八幡市の為に頑張っていたいだきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

松本前委員：松本でございます。もう早いもので、6年間社会教育委員として活動させていただいたんですが、その中でちょっと自分自身が気づいたことであったり、こういう大役をさせていただくことによって分かった分であったりとか、そういった話をさせていただきたいと思うんですが。ちょうど笠井委員と同じときに委員になったということもあり、共通する話もさせていただくことになると思うんですけど、少しお付き合いいただきたいと思います。

私は、スポーツ協会の会長をさせていただいてるんですけど、元々はスポーツ少年団をずっと何十年も指導者としてやってきまして、本部長になってもう何年になるか自分でも忘れてしまったんですけど、その中で特に少年団というのが子どもたちを対象としているということで、これは私たちは社会貢献であると自負をしながらやり続けてきたんですけど、この社会教育委員をさせていただくときに、前任者から社会教育委員というものがどういうものか聞いていな

かったんですね。聞いてなかったがために、まったくわからない状態で第一回目の会議に参加しまして、何をしていったらいいんやろなっていうことを、その時に笠井委員も同様に思っていたと思うんですけど、私も本当に何をしたらいいのか分からなかった。その中で、毎回参加する中で分かってきたんですけど、それが事実として判明したことではなく、自分の中でいろいろ分かってきたことがあります。教育っていうのは学校教育っていうのがあって、これは自分たちもお世話になって大人になった訳なんですけど、その社会教育っていうのは、学校教育の決まった期間だけではなく、一生涯続いていく中の非常に重要なものであるということが、やっとわかってきたんですね。スポーツ少年団として、社会貢献をしてきたそれ以上のものがここでは気づかされたということがありまして、それで社会教育委員の中で話を分かってきたその一つは、各団体の代表の方々、その団体というのはそれぞれ社会教育団体であるということです。もちろん私の関わっている、スポーツ協会も社会教育団体です。社会教育団体がそれぞれ地域で活動されてて、その中でスポーツ協会ですと、あまり周りの団体との関りが少なかった、いろいろと情報交換をしているうちにやっぱりこれは、社会教育団体が情報の共有であったり、連携をもつてことを進めることによって、社会教育団体が担える部分をもっと広く、あるひとつの面として存在しているのを、もっと大きな面につなげていくということが市民の方々に社会教育という機会を提供していける大きな役割を担うことが出来るんじゃないかなと感じることができました。そういう意味で、市民の皆さんに社会教育というものをもっと知っていただく必要もあると思うんです。実際市民の方々に、社会教育のことをどれだけ理解されているかといえば、私は、社会教育委員になる前、分かっていなかったわけですから、他の方も分かっていないと思うんですよね。そういう人たちに社会教育の重要性と、社会教育団体が担う役割というのをもっともっとやっていかなあかんっていうのを感じて、そのうち6年という任期が来た。私としては、できれば皆さんにはそういうことを少し念頭に置いていただいて、社会教育委員の活動をしていただければ、ありがたいな。私は、任期は終わりましたが、社会教育団体である、スポーツ協会を率いてやっていくことになりますので、その中でもっともっと市民の方々にそういうものを提供できる、そういう立場になっていきたいと思っています。

長くなりましたが、私を感じたことと皆さんにお願いしたいことということで、ありがとうございました。

大谷前委員：女性団体から参加していました、大谷と言います。今回、退任させていただきますけども、私は社会教育委員になってまだ1年ぐらしかたっていないので、社会教育委員というものがどういう役割を果たしているのか、まだわかっていない状態で退任させていただくんですけど、次は藤田委員が引き受けてく

でございますので、またよろしく願いいたします。

私も、いまコロナの感染症のことがいろいろ話題になっていましたけども、これから地球温暖化に向けて永久凍土も溶けかかっているというところで、またいろんなウィルスが出てくると思うんですよね、そこから世の中を止めないために学習をしていかなければならないんですけど、私も八幡市の水と緑を守る市民の会の代表をしております、環境問題なんかに取り組んでいるんですけども、地球温暖化問題は今本当に差し迫った問題だと思うんですよね、こういう大変やという問題をもっともっと市民に広げていかないといけないなという立場にあるんですけども、今はどういう風にしていったらいいかなと悩んでいるところで、学習会をするしかないかなと思っているところなんですけどね、それと、ペットボトルみたいなものをもっていくというか、そういう運動をしているところなんですけども、環境保全課の方でワークショップなんかもありまして、結局コロナの感染症で中止になってしまったんですが、そういうところでいろいろ提案させていただいたんですけども、全然返事はないんですが、ちょっと環境のことを私は、団体としてやっていきたいなという風に思っているところです。また、社会教育委員の皆さんにはそのへんでもいろいろと学習会、講演会に取り組んでいただけたらなと思っております。

どうも、ありがとうございました。

算委員長：皆様ありがとうございました。今後ともご支援よろしく願いいたします。

以上、閉会

次回定例会 開催予定日：令和3年9月（規定により隔月で行う）
日程・場所ともに、各社会教育委員の日程を調整し、決定する。